



「静寂」 2013年 第68回春の院展 個人蔵

# 那波多目功

清雅なる画境

Koichi Nabatame  
Exhibition

展

2015年5月23日(土)~6月21日(日)

開館時間=午前10時~午後8時〔入館は閉館の30分前まで〕

入館料=大人1,000(800)円、大学・高校生800(600)円、中学生以下無料

※消費税含む。※( )内は前売り料より20名以上以上の団体料金。※前売券は、そごう美術館またはセブンイレブン、ローソンチケット、イーブラスでお取扱いしております。※障害者手帳をお持ちの方、および同伴者1名さまは( )内料金にてご入館いただけます。

主催=そごう美術館、読売新聞社 後援=神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会

協力=公益財團法人日本美術院、茨城県近代美術館、茨城県天心記念五浦美術館 協賛=(株)そごう・西武

協賛=横浜駅東口そごう横浜店6階

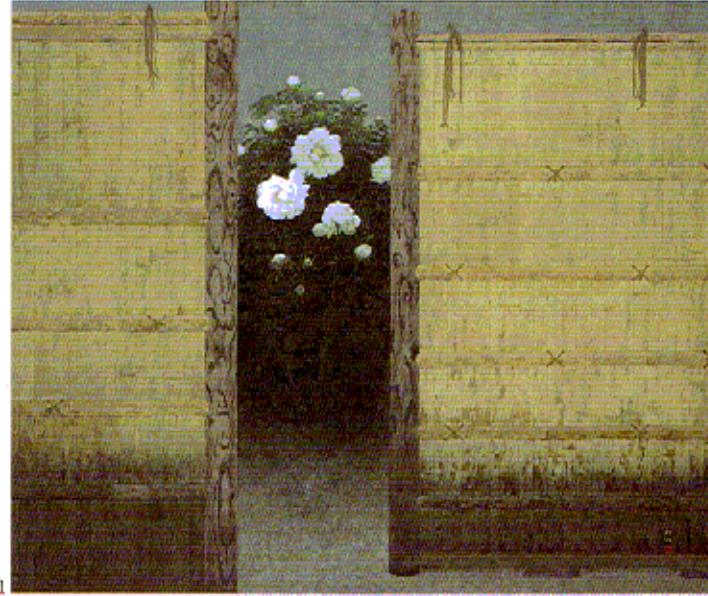
そごう美術館〔横浜駅東口そごう横浜店6階〕



SOGO

横浜

電話 045(465)2111 大代表  
[www.sogo-gogo.com](http://www.sogo-gogo.com)



清

雅なる画境

那波多目功一

なばためこういち

那波多目功一は、1933(昭和8)年茨城県ひたちなか市に生まれ、再興第35回院展に16歳で初入選するなど、早くから才能を開花させました。その後会社員を経て企業家の道を歩みつつも、画家であった父の意志のもと絵画制作を続け、西洋絵画への憧れや、生と死のテーマにこだわるなどの試行錯誤を続けます。そして松尾敏男と出会い、助言を得て、徹底した写生をもとに制作することに専念するようになりました。さらに那波多目は自分らしさを求めて、確かな写生に加え西洋絵画から色彩と装飾性を取り入れるなど新たな境地を拓きました。ひたむきに四季の花々や風景と対峙し、研鑽を積むことによって生みだされる鋭い観察眼に基づき細密に描写された花卉や風景。現実でありながらも幻想的な雰囲気漂う昇華された心象風景として、まさに写意を描いた独自の境地が高く評価され、日本美術院賞など数々の受賞を重ね、1990(平成2)年日本美術院同人、2002(平成14)年日本芸術院会員となり現代日本画壇の重鎮として確かな地位を築いています。

「これまで、花の命を描ければと思ってきましたが、画品というものが少しでも出せないか」と81歳の現在も対象と深く向きあい格闘しながら、意欲的に制作を続け、品格ある絵画を描きつづけています。

本展では、再興院展、春の院展出品作を中心に初期から近作にいたる約70点の作品を展覧し、叙情あふれる絵画世界をご紹介いたします。



- 1.「寂」 1995(平成7)年 再興第80回院展 海さくら美術館蔵
- 2.「爛漫」 2012(平成24)年 再興第97回院展 足立美術館蔵
- 3.「惜春」 2007(平成19)年 再興第92回院展 茨城県近代美術館寄託
- 4.「寂光」 1978(昭和53)年 再興第63回院展 ひたちなか市蔵

## ギャラリートーク

那波多目功一氏  
による  
スペシャルギャラリートーク

日 時: 5月23日(土)午後2時から

場 所: そごう美術館 展示室内

参加費: 無料(ただし入館料が必要となります)

## お問い合わせ

そごう美術館

[横浜駅東口 そごう横浜店6階]

郵便番号 220-8510 横浜市西区高島2-18-1

電話 045-465-5515(美術館直通)

<http://www.sogo-gogo.com/museum/>